

会 議 録

会議名称	大空町地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	令和3年2月22日(月)	17時00分から 17時30分まで
開催場所	女満別研修会館1階大会議室	
出席者の氏名	<p>出席委員</p> <p>三條幸夫 高木恵一 山川秀雄 高野英生 川崎教男 原本光枝 山本幸一 坂井朋子 鈴木武昭 佐藤幸史 原本哲己 阿部雅浩</p> <p>事務局</p> <p>福祉課 鈴木章夫 佐藤清美 里見亜弥 阿部雅浩 山田進也 住民福祉課 小笠原美恵子</p>	
傍聴者の数	0人	
会議資料の名称	大空町地域包括支援センター運営協議会議案	

審議内容及び結果

報告第 1 号

パブリックコメントの結果について

《意見等無しと報告》

【報告第 1 号質疑事項】なし

議案第 1 号

大空町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画  
について

《別添、議案書に基づき、計画素案からの修正・  
変更等の箇所及び第 8 期介護保険料基準額を 5,  
200 円から 5,000 円と 200 円減額する旨  
を説明》

【質疑事項】

委員：パブリックコメントの結果、どなたも来  
られなかったということですが、なかなかパ  
ブリックコメントといっても、最近の傾向を見  
ると難しいなと思います。結果はこうなりました  
けれども、やはり住民の方の関心というのは、この  
結果を十分に広報・HPを通して気が付いてほし  
いなと思います。ここでしっかりしていかないと  
住民が、保険料下がったとか、皆さんの協力  
のもとちょっと下がったねと、また喜びを感じて頂  
けると思うし、自分たちも気を付けて、健康管理  
をしていかないという、そういう姿勢が伝わるよ  
うな取組をぜひして頂きたいなと思います。以上  
です。

事務局：今回のパブリックコメント募集につきましては、広報「おおぞら」1月号に掲載いたしましたが、文言のみの周知となっております。ただ、翌月に別の課では、もう少し大きな箱枠でパブリックコメント募集をされていたので、少し掲載の仕方も目立つような方法をと、反省したところでございます。また、今回、介護保険事業計画は、当町だけではなく全市町村が策定しておりますが、北見市は伝書鳩にも掲載されて注目を集めておられました。あのようになんか使えば、町民の皆さんの注目も浴びる形となりますので、今後のパブリックコメントの仕掛け方も色々考えていきたいと思っております。

委員：工夫も必要ですね。住民の皆さん、それがなければなかなか見ることありませんから。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。ただ、やり方としては、そもそものパブリックコメントのやり方の手法で、もう少し飛躍した効果というところもありましたし、委員が仰せのように方法ですね。決まった介護計画にいかにか中身を捉えながら、住民の方にわかりやすく周知をして、今後皆さんに気を付けて頂けなければならない事等を、今回の計画には盛り込んでいるつもりでございますので、そんなところも周知というところでは、力を入れてまいりたいと思っておりますので、宜しくお願いしたいと思います。

委員：第8期の介護保険料、下がるということは良いことだと思っております。もう一つ市町村を羅列で見ますと、必ずしも基準保険料が安いか高いかという部分の見方としては、その市町村によって十分な介護サービスを受けられる体制が整っていると、当然利用が増えます。そうすると当然介護保険料に跳ね返ってくるので、低ければいいというものではないと思いますし、ある程度高ければ、そういうサービス体制が整っている市町村なのかということも伺えますので、その辺も配慮しながら考えて頂く必要があるのかなと思います。必ずしも安ければいいというわけではないと思っております。もっと利用できるサービスを考えていかなければならないということもあるのかなというふうに、考えていく必要があるのかなと思っております。

事務局：今、ご指摘を頂いた通りでございます。介護サービス内容が充実されていきますと、介護保険料が上がっていくという仕組みになってまいりますので、特に大きな影響を及ぼすものは施設サービスですね。かなり施設の介護が増えると介護保険料もかなりグンとあがるころであろうと思いますけれども、一方で、施設に限らず、ある程度地方に再交付と言いますか、そういった部分があると認識しておりますので、地域支援事業費ですとか、そういった部分もあるというふうに認識しておりますので、それは前回の協議会の中でも、大空町にあっては介護サービスとかそういったサービスでも、十分事業者の方と協力しながら進めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご指導のほどを宜しくお願い致します。

委員：以上を持ちまして、議案第1号大空町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について、ご承認頂けますでしょうか。

委員一同：承認します。

**【その他質疑事項】**

委員：前の協議会の時に、地域包括支援センターって何だろうと答えて頂いたと思いますけれども、住民の皆さんの中には、地域包括支援センターって何をやっているところなのって疑問に持たれる…。よくわかっていないということは、住民のケアが必要なのかその制度の中身をよくわかっていないのか。地域包括支援センターはこういうことをやっているところだよっていうことを、先ほどと同じ話になってしまいますけれども、住民の皆さんにPRする必要があるかなと思います。どういう方法が1番いいのかわかりませんが、繰り返し繰り返し、地域包括支援センターが大事だということを、対象がどうしても高齢者なので1回PRしていけばそれでいいというわけではなくて、随時PRしていただきたいと思っています。以上です。

事務局：前回の時もご指摘頂きまして、我々も色々見直してPR方法等もやらなければならないと考えてございます。工夫をして一応色んなところに出てはいますけれども、まだまだ足りないことだと思っておりますので、あとは内部で話していた

地域包括支援センター、私も今説明をしました者は、事務として入っておりますが、本当は現場で担っているものが全員保健師を兼ねておりますので、あえて電話で話すときに、「はい、こちら地域包括支援センターです。」といった対応を、今、保健師もという、そういったところで、名前は浸透していかなければならない部分もごさいますけれども、いずれにしましても今後の地域共生社会というものを目指していくという中で、地域包括支援センターの役割というものが、先ほど議案書の中にもありましたけれども、地域包括ケアシステムの深化の面のところの中で非常に重要な役割を担っていかなければならないというところを、十分に加味しながら、町民の方にPRの方を進めてまいりたいと思いますので、引き続きご指導等お願いします。

事務局：私の方から気になった点がございまして、今回の計画策定にあたって、7月に最初の会議をさせて頂きました。それから、5か月後の12月に2回、3回目と開催させて頂きまして、だいぶその期間が空いてしまい1回目の会議からなかなか分かりにくくなってしまったというような反省点がございました。アンケート調査も8月に行っておりまして、その結果方向が12月と遅れてしまったのも、今回の協議会の進行を妨げてしまい大変申し訳なく思っております。色々周りの市町村に聞いてみますと、アンケート調査をもう少し早く開始し、委員の皆さんにもう少し内容を早く周知して、計画の中身や方向性を決めてもらう時間を十分に確保するのが本来の計画策定の進め方だと思いますので、会議の進行が遅くなったことを、

大変申し訳ないと思っております。ただ、3年後の次期9期期計画の際には、今回の計画のような遅れがないよう、振返りを行ったうえで次期計画を円滑に進めて参りたいと思っておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いしたいと思います。

閉会